

# 新庁舎建設アドバイザー会議ニュース

(第4回、第5回開催報告)

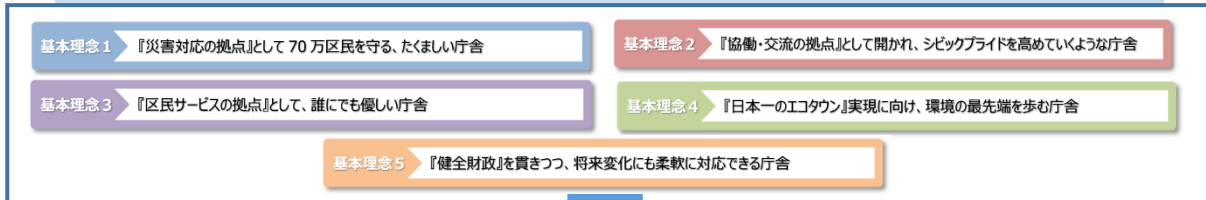
第4回開催日：令和4年11月14日

第5回開催日：令和5年3月8日

## 《開催内容》

基本設計方針の策定に向けて、令和4年度に新庁舎建設アドバイザー会議を2回開催しました。「基本構想・基本計画」の基本理念に応じて、5つの設計方針、具体的な機能等について検討を行いました。

### 基本構想・基本計画（令和3年3月策定）における5つの基本理念



## 5つの設計方針と機能

### 1 これからの100年を支える日本一の防災庁舎

■庁舎の防災計画

- 主要機能を2階以上に配置
- 「中間層免震構造(5階床下)」を採用
- 歩行者デッキ・大規模水害時に迅速な避難ができる
- 1階床レベルをかさ上げ(0.5m程度)
- 1階出入口に防水板を設置
- エレベーターの一部は2階着床(1階非着床)

### 2 協働・交流の拠点として、多様な場を持つ庁舎

■コミュニティ広場・グリーンロード

■協働・交流ゾーン

日常の賑わいにつながる空間の創出

### 3 共生社会を体現し、将来の社会ニーズの多様化にも対応する庁舎

■ユニバーサルデザイン

【子ども連れでの来庁者への配慮例】

- 子ども連れでも議会傍聴可能な部屋を設置
- 授乳室の設置 等

■来庁しない庁舎を見据えた窓口(来庁しない庁舎のイメージ)

【車いす利用者・高齢者への配慮】

- ゆとりのあるエレベーターサイズ
- 立体駐車場から庁舎へフラットにアクセス可能 等

### 4 水とみどりを活かし、最先端の環境性能を持つ庁舎

■ZEB Ready

■グリーンロード(リニューアル)

エネルギーの年間消費量を50%以上削減するZEB Readyにより、光熱費やCO<sub>2</sub>排出量削減につながる

・暗い印象のグリーンロードは、死角を無くし、安全で快適な歩行空間とする

・「たまり空間」を配置し、にぎわいを創出

### 5 社会の変化を見据え、可変性・経済性に優れた庁舎

■基準階の用途変更を見据えた計画

■断面図(イニシャルコスト)

立体駐車場別棟化により構造計画の柔軟性を上げる

地下階なし  
土工事・地下工事の工期・コスト削減

### 基本設計方針策定スケジュール

令和4年度		令和5年度	
11月	3月	5月	6月
●	●	●	●
第4回 アドバイザー 会議	第5回 アドバイザー 会議	意見募集	公表 (予定)

新庁舎建設の情報を掲載しています。  
詳しくは区ホームページ  
(左の二次元コード)をご覧ください。

発行：新庁舎・施設整備部新庁舎整備課  
電話：03-5662-2605

# 新庁舎建設アドバイザー会議ニュース

(委員からの主な意見)

## 《第4回》

- 周辺のまちづくりの変化を意識して計画して欲しい
- 協働・交流ゾーンなど具体的な施設の使い方や運営方法を想定して計画して欲しい
- 今後も多くの区民の意見を反映できる仕組みを検討して欲しい
- 区の象徴となるみどりを活かしながら、適切な管理方法を検討して欲しい
- 歩行者デッキは水害時だけでなく、日常のにぎわいに繋がるような工夫を
- 職員にとって効率的に執務が可能である環境を検討していくことが、最終的に区民サービスの向上に繋がる
- 新庁舎が江戸川区の魅力の発信や、イメージアップに繋がると良い

## 《第5回》

- 情報発信機能という点においては、様々な情報があるが、効果的な情報の伝え方を意識して十分に検証して欲しい
- 新庁舎計画区民ワークショップなど、様々な立場の方々の意見を設計方針に反映していることがよくわかった
- 江戸川区の歴史に触れる機会や、様々な学びに繋がる情報発信の場の設置の検討を
- 屋外における風環境や、半屋内の空間づくりなどは十分に検討して欲しい
- 歩行者デッキは、災害対応機能に加え、建物との繋がりなど空間的な関連性を持たせるなど機能を工夫して欲しい
- 今後來庁しない庁舎を想定して、ワンストップ窓口といった区民サービスを意識した形で構想が練られている
- 新庁舎完成までの間、技術は進歩していく。先進的な技術にも対応して機能するように、可変性を念頭に置いて考えていかなければならない